

令和2年 第10回文教厚生常任委員会会議録

令和2年 9月24日 議員控室

○事 件

所管課報告事項

- (1) 産婦人科の医師体制について（八雲総合病院）
- (2) 国保病院改築事業基本設計業務について（熊石国保病院）

協議事項

- (1) 調査事項の検討について

○その他

- (1) 勉強会の開催について

○出席委員（6名）

委員長	赤 井 睦 美 君	副委員長	安 藤 辰 行 君
	関 口 正 博 君		佐 藤 智 子 君
	斎 藤 實 君		千 葉 隆 君

○欠席委員（1名）

黒 島 竹 満 君

○出席委員外議員（1名）

宮 本 雅 晴 君

○出席説明員（4名）

総合病院事務長	成 田 耕 治 君	庶務課長	竹 内 伸 大 君
国保病院事務長	福 原 光 一 君	国保病院次長	目 谷 文 尚 君

○出席事務局職員

事務局長	井 口 貴 光 君	庶務係長	松 田 力 君
------	-----------	------	---------

◎ 開会・委員長挨拶

○委員長(赤井睦美君) それでは、皆さん、おはようございます。早速、文厚委員会を始めさせていただきます。

◎ 所管課報告事項

【八雲総合病院職員入室】

○委員長(赤井睦美君) 最初に報告として、総合病院より、産婦人科の医師体制について、よろしくお願いたします。

○総合病院事務長(成田耕治君) 委員長。事務長。

○委員長(赤井睦美君) 事務長。

○総合病院事務長(成田耕治君) 令和2年10月以降の産婦人科医師体制について報告させていただきます。

現状、平日は2名の常勤医師と、手術応援などの出張医師、週末は北大産婦人科医師の出張応援により産婦人科体制を維持しております。当院における参加領域は、この地域で唯一の24時間救急対応が可能な、地域周産期母子医療センターとして分娩などに備えております。また、婦人科領域では月1回、北大から不妊や腹腔鏡手術が専門の医師が手術応援に来られ、さらに北大名誉教授による腫瘍外来を開設しています。そのほか月にそれぞれ2回ほど、寿都診療所や、せたな国保病院へ出張診療、月に1回、せたな町大成区へ巡回診療を実施している状況でございます。

このたび、産婦人科医師1名が9月末で退職となります。現状の分娩数では北大病院からの後任配置が見込めず、10月以降は常勤医師1名体制での診療となります。ただし、毎週火曜日午後から木曜日午前中まで北大病院、これは第2、第4、函館中央病院、第1、第3第4、第5の週に診療応援をいただくこととしております。一部、せたな町大成区への月1回の循環診療につきましては、10月から廃止せざるを得ませんが、せたな町とは、出張診療で対応することとしており、現在の診療に大きく影響することはないものと考えてございます。

当院における分娩数でありますけれども、令和元年度、119件でありました。管内の出産数については押さえておりませんが、八雲町全体の出生数に関しては104件でありました。10年前でありますけれども、平成22年の当院における分娩数については268件、今年度119件というかたちになっています。そのような状況も含めてですね、北大の産婦人科に関しては、1病院250という一定の基準があります。それをですね、今は大きく119件というかたちで、大きく下回っているということもありまして、先ほど説明しましたように、後任の配置が見込めないと。1名体制で頑張ってくださいということになっておりますので、ご報告を申し上げたいと思います。別表に関しては、10月以降の体制でありますので、ご参照願いたいと思います。以上です。

○委員長(赤井睦美君) このことについて、質問、意見ありませんか。

- 委員（斎藤 實君） 委員長。
- 委員長（赤井睦美君） 斎藤委員。
- 委員（斎藤 實君） 119 件って、1 人の先生で、これ全部やるんですか。あと北大の応援を受けながらという考え方でいいんでしょうか。
- 総合病院事務長（成田耕治君） 委員長。事務長。
- 委員長（赤井睦美君） 事務長。
- 総合病院事務長（成田耕治君） この 119 件に関しましては、日中が主にですね、うちの常勤の先生がとっていますけれども、時間外だとか週末に関しては北大の先生並びに当院の先生も待機しておりますので、出産・分娩を受けるというかたちで、トータル的に常勤医と出張医。それで今後は主に 1 人体制ですので、週末待機については完全に北大が対応しますし、あと平日の火曜日から木曜日に関しては常勤医師とタイアップしたかたちでの対応ということになるかと思えます。
- 委員（斎藤 實君） 相当、無理がかかるんだろうか。1 人の先生には。
- 総合病院事務長（成田耕治君） 委員長。事務長。
- 委員長（赤井睦美君） 事務長。
- 総合病院事務長（成田耕治君） 先生がですね、本当に分娩で携わるということは、数は少ないと思います。ほとんど助産師さんが付いていて対応していますので、何か異常分娩があって帝王切開するだとか、いろんな状況に応じて、先生方に関しては対応しますので、この 119 件であれば、1 人ないし出張医の先生で十分対応できると思います。
- 委員長（赤井睦美君） ほかにありませんか。
- 委員（佐藤智子君） はい。
- 委員長（赤井睦美君） 佐藤委員。
- 委員（佐藤智子君） 助産師は何人いるんですか。
- 総合病院事務長（成田耕治君） 委員長。事務長。
- 委員長（赤井睦美君） 事務長。
- 総合病院事務長（成田耕治君） 今、その分娩に直接携わる助産師については 6 名ですが、けれども、その他の部署に、師長として 2 名配置していて、兼務発令しておりますので、その当番のときには応援体制はありますので、全体でいけば 8 名になります。
- 委員（佐藤智子君） はい。
- 委員長（赤井睦美君） 佐藤委員。
- 委員（佐藤智子君） この退職される先生というのは、元々予定されていたのか、北大との絡みで、分娩数でお辞めになることになったのか、その辺はどうなんですか。
- 総合病院事務長（成田耕治君） 委員長。事務長。
- 委員長（赤井睦美君） 事務長。
- 総合病院事務長（成田耕治君） この先生の退職に関しましては、昨年 12 月にですね、院長と私が北大の教授のほうにご挨拶に行ったときに、今のこの分娩数であれば、周りのバランス、医師の配置のバランスとかもあるので、このままの状況が将来も続く予定であれば 1 名減というのはやむを得ないと。そのような体制で、出張医も含めたかたちで応援をするので、当院として周産期を含めて頑張ってもらいたいと言われていました。

- 委員（佐藤智子君） はい。
- 委員長（赤井睦美君） 佐藤委員。
- 委員（佐藤智子君） そういう経緯はわかりました。それで、これまでよりも経費は増えることになりますか。
- 総合病院事務長（成田耕治君） 委員長。事務長。
- 委員長（赤井睦美君） 事務長。
- 総合病院事務長（成田耕治君） 出張医の3日の体制の分と、常勤医が勤めていた年間の金額と比べると、当然、出張医で、体制は3日間ですので、その分の差額というか、負担の減はありますので、そのことによって大きく1名減になって出張医が増えたことによる賃金の増ということはありません。
- 委員長（赤井睦美君） よろしいでしょうか。
- 委員（佐藤智子君） ちょっとわからない。
- 総合病院事務長（成田耕治君） 仮にですね、年間2,500万だとしたら、出張医、3日間といっても分娩も含めた待機とかですので、それよりは1,000万以上は減になるという予定です。
- 委員長（赤井睦美君） ほかにありませんか。なければこれで終わります。ありがとうございます。

【八雲総合病院職員退室】

【熊石国保病院職員入室】

- 委員長（赤井睦美君） それでは、国保病院改築事業基本設計業務について、よろしく願いいたします。
- 国保病院事務長（福原光一君） 委員長。国保病院事務長。
- 委員長（赤井睦美君） 事務長。
- 国保病院事務長（福原光一君） 国保病院改築事業基本設計業務につきまして、先般、契約締結の取り運びとなったことから、事業の概要と業者選定にかかる経緯等についてご報告いたします。

資料1をお願いいたします。1 業務概要と業者選定方法でございます。（1）業務名は、八雲町熊石国民健康保険病院改築事業基本設計業務委託でございます。（2）履行期限を契約日から令和3年3月15日までとしてございます。（3）業務内容は、新病院の建設に関する、建築、電気設備、機械設備、既存病院等の解体、外構に係る基本設計業務に、現地のボーリング調査、敷地測量調査を含む業務としてございます。（4）業者選定方法につきましては、病棟及び外来診療を休止することなく継続をして、患者サービスを損なうことなく現状の医療提供体制を維持しながら新たな病院整備を行うことから、高度な専門知識もしくは技術、また経験に基づく分析や問題解決能力に優れた設計者を選定することが必要と考え、技術提案型総合評価公式、いわゆる公募型プロポーザル方式を実施することといたしました。

2 公募型プロポーザル方式の実施結果についてでございます。(1) 実施経過としまして、告示につきましては8月4日に行い、実施要綱等の公表も合わせて行い、プロポーザルへの参加事業者を募集いたしました。8月14日に締切りをしまして、1社の応募事業者を充由しました。その後、提出書類審査を経て、9月8日にプレゼンテーション及びヒアリングを行い、9月11日に審査結果を通知及び町ホームページにて公表いたしました。(2) 審査結果につきましては、設計業者として適していると判断して、最優秀事業者とした、札幌市中央区南1条西2丁目5番地 株式会社 石本建設事務所 札幌オフィス オフィス代表 河野竜夫でございます。(3) 契約方法につきましては、プロポーザル方式にて選定した後、随意契約にて締結をして、(4) 契約日につきましては令和2年9月18日でございます。

以上、国保病院改築事業基本設計業務の報告でございます。よろしくお願いたします。

○委員長(赤井睦美君) このことについて質問、意見ございませんか。よろしいですか。

○委員(佐藤智子君) 委員長。

○委員長(赤井睦美君) 佐藤委員。

○委員(佐藤智子君) 応募事業者は、1社しかなかったってことですが、それで間違いないですか。

○国保病院事務長(福原光一君) 委員長。国保病院事務長。

○委員長(赤井睦美君) 事務長。

○国保病院事務長(福原光一君) 8月14日に参加表明の募集を締め切った時点です、1社のみ応募となりました。指名競争入札、一般競争入札で1社のみというのはあり得ないんですけども、プロポーザル方式につきましては、1社のみでも実施可能と。その際にはですね、設計業者として適しているかどうかというところの審査基準を設けてですね、最終的に9月8日にプレゼンテーションとヒアリングを行いまして、適しているという判断をさせていただきました。

○委員(斎藤 實君) 委員長。

○委員長(赤井睦美君) 斎藤委員。

○委員(斎藤 實君) 石本建設事務所というのは、病院の設計なんかは長けてる人なんですか。

○国保病院事務長(福原光一君) 委員長。国保病院事務長。

○委員長(赤井睦美君) 事務長。

○国保病院事務長(福原光一君) 提出書類の中にですね、過去の実績についてですね、報告するようにしております、過去の実績、主にですね、面積で3,500㎡以上の病院、また自治体病院の建設実績がある病院ということで、書類を求めたんですけども、その実績数についてもですね、十分、適用しているという判断をして審査をしてという判断をしたというところでございます。

○委員長(赤井睦美君) よろしいですか。

すごい変な質問なんですけれども、3月15日までに基本設計が出来上がるということなんです。これでいくとね。調査とかはいつから始まるんですか。

○国保病院事務長(福原光一君) 委員長。国保病院事務長。

○委員長(赤井睦美君) 事務長。

○国保病院事務長（福原光一君） 事業の実施計画につきましてはですね、今後、業者とですね、条件整理、その他協議を行いまして、敷地の測量ですとか、ボーリング調査、地質の調査とかは早い段階で行うことで進めております。同時進行でですね、設計業務につきましてはですね、院内の各部署とのヒアリングも含めてですね、早急に行う予定でありまして、3月15日以前にですね、基本設計の書式ですとかそういった提出書類も完成するという見込みで報告を受けております。

○委員長（赤井睦美君） ほかになければ、これで終わります。ありがとうございました。以上で、報告事項について終わります。

◎ 協議事項

○委員長（赤井睦美君） 次に、協議事項についてなんですけれども、調査・研究というところで、皆さんからも、もしこういうことについて調査してほしいということがあればぜひ出していただきたいのですが、私のほうからは、今回、コロナウイルスの一斉休校のときの状況がどうだったというアンケートを取って見たんですね。これ地域教育力活性化会議というところで取ったんですけれども、今回、初めてウェブでやってみたんですよ。それで私は自分自身がウェブができないので、20人くらい返事があればいいかなと思ったら、なんとなんと287件もお返事をくれて。結構びっくりしたのが、自由意見書く欄は、普通、文書でやると誰も書いてきてくれないから、丸で選択するようにしようと思って、アンケートは丸で選べるようにしたんですね。それで自由意見もかけるようにしたんです。それで今回、自由意見がすごく多くて、だから保護者の中で結構大変だったという不満が多かったんだなというのはありましたし、このアンケート取るだけではなくて、それに対してちゃんと答えなさいという意見もありましたけれども、まずはその大変さを受け止めるという方法が、今後は必要だなということを感じました。こういうことを中心に、だから次どうするということは、今すぐはないんですけれども、やっぱりもっともっといろいろなことを調べていかなければいけないと思っています。

自分の中では今回GIGAスクールが始まるんですけれども、なんとなく説明されると、GIGAスクールを始めると学力も向上し、基礎学力も定着するような、そういう雰囲気はあるけれども、やっぱり、たとえば、かけ算の九九ができない子が、タブレット持ったからすぐできるようになるとか、そういうことではないんですよ。

だからGIGAスクールは、もちろんこういう緊急事態に役に立つとは思うんですけれども、基礎学力の定着を図るためには本当にどうしたらいいんだろうと。子ども達はどういう状況にあるんだろうということを、もっと自分も調べていかなければいけないと思うし、先生方がおかれている状況、このGIGAスクールに対応する、これからいろんな研究があると思うんですけれども、同時に暮らす運営の中で学力がついていかない子に対して、手厚くする余裕があるのかどうか。たとえば小さい学校だと、夏休み冬休みに不得意なところをちゃんと宿題を作って、その子呼んで、個別に事業をするということをやっている学校があるんですけれども、八雲小学校くらい大きくなると、そこまで先生方は手が回らないので、その辺を今後どういうふうにしていくのかだとか、こういう子ども達はどのような状

況にあるのかということをもっともっと想像だけじゃなくて、実際に調べてみたいと思いますし。

この間のゴミの減量化で三澤さんが質問したときに、町長は焼却炉を焼くのに造るといふ、そういうことをおっしゃってました。それで焼却炉を造るのは、もちろんいいんですけども、やっぱり私はゴミを減らしていかなかったら、いくら焼却炉を造ったって、それに何億とお金がかかるわけですからね。そこはやっぱり減らしていくところが大事なんじゃないかと。それでそういうごみ減量化に向けて、どんな取り組みができるかという調査をしていきたいと思いますし。

あと病院ですね、先ほど産婦人科医が1人いなくなって出張医になっても1,000万円くらい支出が減になるという説明がありましたけれども、本当に総合病院、今までどおりのやり方でいいのかという調査も必要だと思います。そういうことで、勉強会も含めて調査していきたいと思うんですけども。皆さんのほうからも、もっとこういうことも調査したほうがいいんじゃないかということもあれば出していただいて、あと私の出したことに対して、そこまでは必要ないんじゃないかということがあれば、皆さんから意見を聞いてみんなやっていきたいと思いますけれども、いかがでしょうか。

○委員（佐藤智子君） 委員長。

○委員長（赤井睦美君） 佐藤委員。

○委員（佐藤智子君） 私は委員長の意見に賛成です。どれも大事なことだと思うんですけども、あまりいっぱいでも手が回らないということもありますから、三つか四つというか、皆さんの意見次第ではあると思うんですけども、あまりいっぱいになっても半端になってしまうので、絞ったかたちでは思うんですけども。

私自身はその介護保険関係で、今国のほうが要介護者も全部、自治体にお任せしたいという意向が出ているという新聞報道もありますので、介護保険関係のほうも、ちょっと勉強してみたいとは思っています。以上です。

○委員長（赤井睦美君） ほかにありませんか。

○委員（関口正博君） 委員長。

○委員長（赤井睦美君） 関口委員。

○委員（関口正博君） 先ほどの総合病院の産婦人科の件、大学志望で医師が減らされる。ダウンサイジングって千葉さんも前におっしゃってましたけれども、やはりそういう将来のことも含めた話し合いというのは、やはり必要で、我々もそういう認識をきちんと持った中でいろいろな計画を立てていくというのが改めて必要なんだなと思いました。病院の意向だけ、八雲町の意向だけではどうしようもならないという部分も、ちゃんと抑えながらそういう話はしていかなければならないなと思います。

あと、このコロナというのは本当にたくさんの意見を寄せていただいた部分では、●●部分の家庭の格差っていうのがやっぱり見えてくるのかなというふうにも思いますので、そういう部分もちゃんと突き詰めて、ちゃんと、休みなんだけど子どもにご飯が当たらないという、これはコロナに限ったことではないんだけど、そういう問題も、もっといろんなことを掘り下げて見ていくべきかなと思います。

あともう一つ、これは個人的になんですけれども、歴史的遺産、こないだの民法のテレビで函館戦争についての番組をやってたんですけれども、落部地区も、そういう主戦場になってるといふ部分では、その辺はもうちょっと、今を生きる我々として後世にきちんと伝えるという部分では、ちゃんと資料の精査だとか、そういうものがやっぱりやっていかなければならないんじゃないのかなと。毎回、話にも出ますけれども、アイヌのことにしても、そういう取り組みも一つ何かあったほうがいいのかなと思います。

○委員長（赤井睦美君） 調査の仕方もね、たとえば今の函館戦争の、落部に跡地があるんですけれども、そういうことだったら資料館とともに調査して残していくということは可能だと思いますし、それから介護保険のことも、福祉課からいろいろ勉強することもできると思うので、そこはまず聞くということは当然できますよね。

○委員（佐藤智子君） 委員長。

○委員長（赤井睦美君） 佐藤委員。

○委員（佐藤智子君） この地域教育力活性化会議のアンケートというのは教育委員会とは共有してるんですよね。

○委員長（赤井睦美君） しています。はい。

○委員（佐藤智子君） そうすると、いつも教育委員会が来ると、報告とその質問とかのやり取りが主になりますけれども、こういうのを基にしたら、今度、教育委員会と懇談とか話し合いみたいなのもやれそうですかね。

○委員長（赤井睦美君） これ社会教育。でも学校だと学校教育ですよ。だからそこら辺が両方来てもらうという。

○委員（佐藤智子君） どっちになるとかというのは結構、問題になりますか。

○委員長（赤井睦美君） 教育長が両方を兼ねているから大丈夫だと思います。

○委員（斎藤 實君） アンケート見るとあれだね。その家庭、家庭の、自営業だとか、いろんな家庭の事情によって相当違ってるものですね。

○委員（関口正博君） 昔はね、同居でおじいちゃんおばあちゃんがいるからってそんなこと大した気にしなくてもよかったんだけど。今は本当に当たり前で、思い知らされるよね。ご飯の問題も。

○委員（斎藤 實君） 一通り読ませていただいて。

○委員長（赤井睦美君） みんな家でお昼食べているでしょ、私たちって。だからそんなお昼出す毎に食費が増えるってことは、自分の中ではほとんど考えたことが私はなかったんですよ。でもこれを見ると食費の出費が多いというのがびっくりして、これ普通じゃなかったのかなって。

○委員（関口正博君） こども食堂とかね、最近よく聞くけれども、やっぱり都会のほうでNPOの取り組みやったり、民間団体の取り組みをやったりして、自治体で●●パターンっていうのはなかなかなくて、やっぱりそういうことやっちゃうと負担が相当大きくなる。どういうかたちで援助できるかというのは、やっぱりいろんな角度から検討しなければならないんだろうけれども。給食センターは立派になったけれども、こういうときに活躍できる方法はないかとか。

○委員長（赤井睦美君） 給食費無償だからね。同じですよ。平日で出そうが、コロナで出そうが。

○委員（関口正博君） せめて1食、昼食出してあげるだけでも、大分、負担は違うんだろうなって。

○委員長（赤井睦美君） そういうこと話とかができればいいんですけどね。

○委員（関口正博君） いろんな自治体の事例を見ながら検討はしてみたほうがいいのかなと思いますね。

○委員長（赤井睦美君） 今、方法を考えながら、ちょっと4番とごっちゃになっちゃうんですけども、総合病院に関してはアドバイザー、正式名称はわからないんですけども、アドバイザーの先生とお話し合いをしてもらう時間を取っていただいたんですよ。よっぽどコロナが入らない限りは、10月15日にアドバイザーの方と文厚のひと、堅苦しい話し合いじゃなくて、リラックスして、記録にも正式に残されないというか、今後、病院をどうしたらいいという話し合いができたらと思うので、時間を取っていただきました。

今のところ10月15日は総合病院の先生たちとアドバイザーの方が4時までお話し合いがあるんだそうです。ですから4時半以降だといいですよということで、せっかくだから総務の方にも声をかけて、皆でいろいろ話し合えたらいいなと思って、場所は総合病院を考えています。時間は4時半か5時か、今ちょっとはつきりしたのは、もう一度連絡しますけれども、一応4時半くらいにさせていただければなと思っていました。

そこで一回お話し合いをしたあとに、じゃあ病院に対して私たちこれから何を調査していけばいいんだということが発見されたり、あと福祉課と話しするとか資料館と話しするとか、教育委員会と話をするとということから、少しちゃんとした、もしかしたら資料館と話をしたら、あとはそれは、その後はそんなに続けなくてもよくなるかもしれないし、もっともっと深めたほうがいいかもしれないというのを、一度教えてもらうことによって、情報交換することによって見えてくると思うので、一度話し合ったほうがいいのかなと思うんですけども、だからこんなにたくさんって、今出たのは介護保険と資料館と教育委員会とゴミの問題も出たんですけども、各課とまず1回話をして、それすべてを1年間ずっと調査するというのではなくて、その中で話をした後にもた、まとめて行けたらと思うんですけども、よろしいですか。

（「はい」という声あり）

○委員長（赤井睦美君） そしたら福祉課と教育委員会、社会教育、資料館と、それとゴミは環境水道課と一回話を。病院は日にちが決まっているので話をする時間をとっていただいて、そこで話し合ったあとに、方向性を見つけるということでもよろしいでしょうか。

◎ その他

○委員（斎藤 實君） 何時ですか。病院。

○委員長（赤井睦美君） 昼から出どうですか。都合悪いですか。

○議会事務局庶務係長（松田 力君） 病院は4時半か5時から。

○委員長（赤井睦美君） 病院は4時半か5時からです。ほかはお昼からでどうですか。皆さんこの日は都合悪いというときがあれば言っていただければ。

○委員（佐藤智子君） これはその1日に1つの課っていうことのイメージなのか、1回にできるだけ多くの課というイメージなのか、その辺は。

○委員長（赤井睦美君） そんなに何時間も話さないでしょうね。だから1回にできればいいかなと。たとえばですけれども、今後、介護保険ってどんな方向にありますかと聞いて、そこから3時間話すってあまりないでしょ。だからできれば一緒がいいかなと思います。

○委員（佐藤智子君） なるほど。

○委員長（赤井睦美君） 函館戦争とか、それからアイヌ文化のこととかも、資料館としては、どこまでどうまとめて子ども達にどう残していくか。「私たちの町八雲」にはちらっと載ってるけれども、それだけでは足りないから、もしかしてこういう方法もあるんじゃないかという話し合いも、そんなにそんなに時間かけなくても、前もって言うておくと資料を持ってきてもらえると思うので、1日でできますよね。足りなかつたらまた次、続けてやればいいしね、相手の都合はあるけれども。

○議会事務局庶務係長（松田 力君） その原課の都合もあるので、あまり時間がわからない状況だと、向こうも予定を立てづらくなるので、たとえばいついつの午前中に、たとえば2課とか、そういうふうにしてあげたほうが、待機する時間とか用意の関係もありますけれども。それかもう1日と決めて、なるべく午前から午後に跨がないようにとか、午前中で終わらせるとか、そういうような日程を組んであげたほうがいいかなと。

○委員長（赤井睦美君） 皆さん、いつくらいがいいですか。

○委員（安藤辰行君） 次回の委員会なら駄目なの。

○議会事務局庶務係長（松田 力君） 次回の委員会は10月15ですね。その日に来てもらってということも。

○委員長（赤井睦美君） その日いいですね。15日。

○委員（安藤辰行君） なんか特別やることあるの。決まってないの。

○議会事務局庶務係長（松田 力君） 今のところ報告事項はまだ。

○委員（安藤辰行君） そしたらその日でもいいんじゃない。

○委員長（赤井睦美君） その日をお願いします。

（何か言う声あり）

○委員（佐藤智子君） それで、その流れで総合病院に行くという感じの。

○委員長（赤井睦美君） そうですね。

○委員（佐藤智子君） そしたら5つ全部。

○委員長（赤井睦美君） 一時半から。いいですか。

○委員（斎藤 實君） 時間的に大丈夫なのか。病院入れたら4つか5つ。

○委員（安藤辰行君） 病院は4時半か5時だから、その前に3つなら3つ終わらせて。

○議会事務局庶務係長（松田 力君） 社会教育と学校教育と環境水道と保健福祉。

（何か言う声あり）

○議会事務局庶務係長（松田 力君） あと今回、原課からの報告案件は委員会開催してそのまま開きますけど、1回そこを取って、自由な意見交換というか、やり取りをやるということによろしいですか。

○委員長（赤井睦美君） 是非是非。前もって質問事項を作っておけばいいですよ。

○議会事務局庶務係長（松田 力君） もし、こういうことを聞きたいというのが少し具体的にみると資料の準備とか、手元に資料がなくても受け答えの準備をしてもらえるとと思うので、そこを少し具体的に教えていただければ。

○委員長（赤井睦美君） そしたら資料館への質問をまとめてもらってもいいですか。

○議会事務局庶務係長（松田 力君） こういうようなことを当日ちょっと聞けたらという、少し大枠でもいいので教えていただければ。

○委員長（赤井睦美君） じゃあ介護保険のほうをまとめてください。

○委員（佐藤智子君） はい。

○委員長（赤井睦美君） そしたら私その他まとめます。それを松田さんのほうに差し上げて、前もって出していただいて。いつまでに。なるべく早くですよ。

○議会事務局庶務係長（松田 力君） そうですね。10月15日が当日なので。

○委員長（赤井睦美君） 質問といってもそんなすごい質問じゃないから、今月中で大丈夫ですか。

○議会事務局庶務係長（松田 力君） 今月中でもいいですし、10月2日ですかね。来週の金曜日までに出していただければ。

○委員長（赤井睦美君） はい。よろしく願いいたします。堅苦しいことじゃなくて、研究したいから教えてくださいということですので。

○議会事務局庶務係長（松田力君） 常任委員会の開催ではなくて。それと別個に、常任委員の人と意見交換ということですね。

○委員長（赤井睦美君） そういうことで、今回は10月15日、1時半からです。

（何か言う声あり）

○委員長（赤井睦美君） ここで話し合っ、て、病院に移動します。ということです。よろしくをお願いします。それではその他ありませんか。事務局からはないですか。

○議会事務局庶務係長（松田 力君） ありません。

○委員長（赤井睦美君） では、これで終わります。

〔閉会 午前 10時37分〕